

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム シバ・ピアーズ
日付	平成19年1月23日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>概評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>入居者が家族とのふれあいを一番に感じるために家族の手料理でもてなす参加型の会を毎月行っています。入居者は知らず知らずに家庭的な雰囲気を感じ、大変好評のようです。代表者はグループホームの運営を可能な範囲で管理者に任せています。介護に対して責任感が持てるようになり、介護に取り組む姿勢が以前より芽生えているようです。</p> <p>代表者は職員への配慮もしっかりとしながら、意見や要望を尊重し、一緒にグループホームがより良い方向へ向かうように働きかけています。そして外部研修にも理解を示し、積極的に職員の誰もが参加できるような気配りから周囲の環境を整えています。</p>
<p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p>週1回「バリデーションの日」を設けて、入居者と個別に接する時間を少しでも多くしようと配慮していますが、一生懸命作業をこなしているため、業務優先となっています。特別の日以外でも雰囲気作りで気配りを持つと入居者の接し方がもっと素晴らしいと思います。 周辺の交通事情もあるようですが、テラスでの語らいや笑顔が広がる一貫として、天気の良い日にはもっと散歩などに出来る回数が増えたら、より素晴らしい施設になると思います。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 「あきらめから希望へ、笑顔とチームワーク、限り無きプラス思考」という理念を掲げ、職員一体となって介護にあたっています。理念を具体化するため、ユニットごとに毎月目標を決めています。今月(9月)の目標は「見つめて会話」「あたたかい一声」でした。また、入居者個々に合わせた介護を目指す「バリデーション」の推進も図っています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 入居者と接する時間を出来るだけ持てるようにしています。週1回はバリデーションの日にし、入居者とふれあいの時間を作っています。日々の生活リズムを替えないようにして、入居者と職員が会話をしながら日常的な作業をこなし、暮らせるように取り組んでいました。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物等の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 入居者には、茶道の道具を持ってきて実際にお茶を入れてもらったり、野菜の収穫や花への水やり、洗濯物や食器の片付けなど、日常生活の中で出来ることをしてもらっています。入居者本人のやる気を出させる言葉かけもあり、入居者は楽しそうに取り組んでいます。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	研修などへ積極的に出掛け、レベルアップに繋がることを吸収しようとしています。管理者など、一部の職員だけではなく一般の職員も研修にいらしています。特に「バリデーション」には力を入れ、行う日を決めてコミュニケーション能力を養っています。		